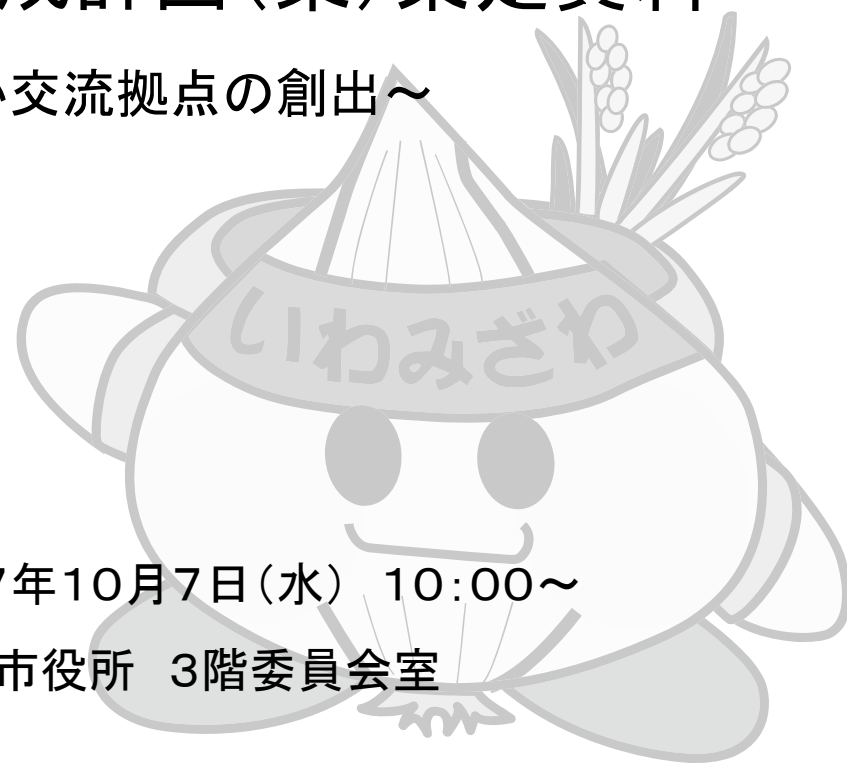


第2回岩見沢市地域公共交通活性化協議会

岩見沢市地域公共交通網形成計画(案)策定資料

～公共交通と連携したまちなか交流拠点の創出～



日時 平成27年10月7日(水) 10:00～

会場 岩見沢市役所 3階委員会室



1. 本実証実験の目的

岩見沢市中心市街地の活性化に資するとともに、バス待ち環境の快適性向上などによる利用促進、高齢者の外出機会の増加や学生と高齢者など多世代の交流機会の増加のため、中心市街地における「まちなか交流拠点の創出」の実証実験を実施する。

2. 公共交通と連携したまちなか交流拠点の創出の経緯

① 岩見沢市生活交通ビジョンにおけるまちなか交流拠点の創出の位置づけ

岩見沢市生活交通ビジョンにおいて、以下の事項について検討を行うこととしている。

基本方針1：コンパクトな都市を形成する新たな公共交通網の構築

(1) 利用実態を考慮した効率的な既存公共交通網再構築の検討

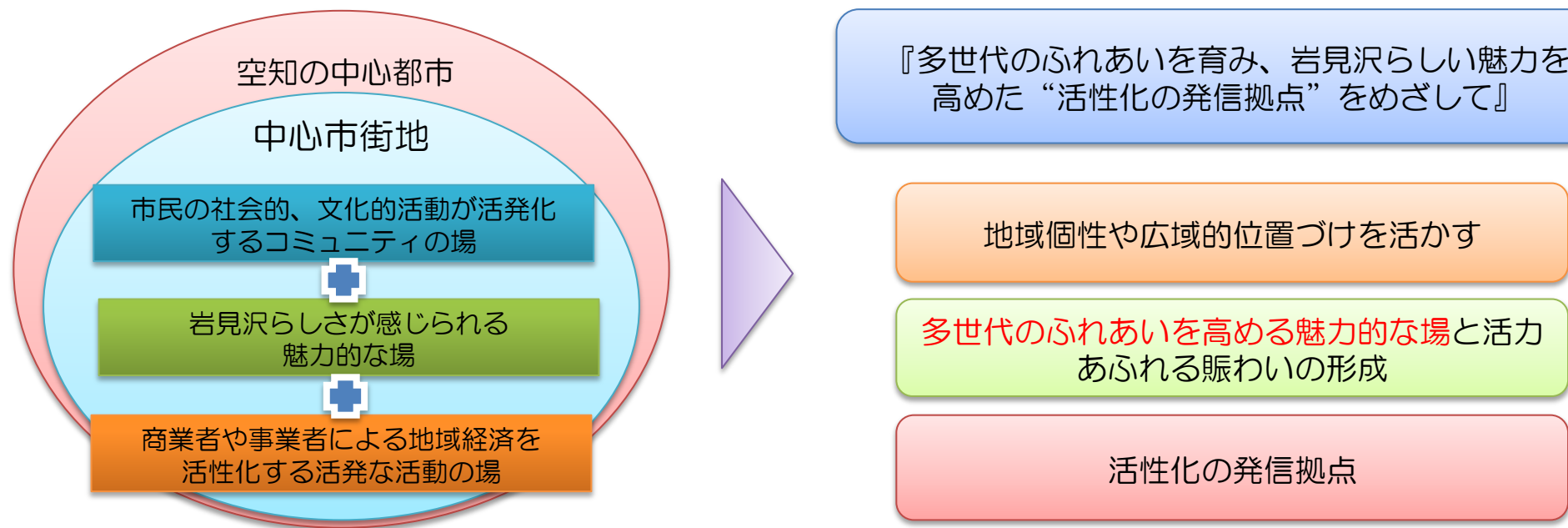
(2) 既存施設を活用したまちなか交流拠点の創出の検討

中心市街地において、既存施設を活用したバス待合い機能を有するまちなか交流拠点を創出し、公共交通と連携したまちづくりを検討する。

2. 公共交通と連携したまちなか交流拠点の創出の経緯

② 中心市街地における新たなふれあいや交流を育む場の創出が求められている

岩見沢市生活交通ビジョンの関連計画にあたる「岩見沢市中心市街地活性化基本計画」及び「岩見沢市まちなか活性化計画」では、中心市街地活性化の方針として、「市民の社会的、文化的活動が活発化するコミュニティの場」や「岩見沢らしさが感じられる魅力的な場」としての機能の充実を中心市街地に求めている。



3. まちなか交流拠点創出の検討

3-1 北海道大学におけるコミュニティカフェ実証実験

北海道大学 交通インテリジェンス研究室では、近年、地域のたまり場として注目されている「コミュニティカフェ」の実証実験を実施している。

●公共交通との連携におけるコミュニティカフェの効果

- ◆帰りのバスの待ち時間を楽しく過ごすことができる
- ◆外出の促進が期待できる（通院・買物以外に出かける用事・目的地ができる）
- ◆公共交通の利用者の増加に寄与する可能性がある



3-2 北海道教育大学岩見沢校における 大学・地域が一体となった取り組み

北海道教育大学では、大学と地域が一体となった取り組みとして、講義では「地域プロジェクト」、地域連携活動では「あそびプロジェクト」を展開している。

【地域プロジェクトの概要】

北海道教育大学岩見沢校の全学科の1~2年生を対象とした講義であり、地元である岩見沢市について地域を広く学ぶプロジェクト
⇒「岩見沢学」として地域の有識者を招いて講義を開催



4. 実証実験内容の検討

4-1 まちなか交流拠点における実施内容

北海道教育大学岩見沢校：まちなか公開講座の開催（毎週月曜日）
北海道大学：コミュニティカフェの開設（開催曜日検討中）

4-2 実証実験時期（予定）

【まちなか公開講座（北海道教育大学岩見沢校）】
平成27年12月7日（月）、21日（月）、平成28年1月18日（月）、25日（月） 計 4日間
【コミュニティカフェ（北海道大学）】
平成27年12月7日の週、14日の週 計 約2週間

4-3 開催場所

であえーる岩見沢2階のひなた広場

4-4 実施主体

- ◆北海道教育大学 岩見沢校（芸術・スポーツ文化学科）
- ◆北海道大学（交通インテリジェンス研究室）

4-5 開催支援

- ◆岩見沢市（企画室・中心市街地活性化推進室）
- ◆株式会社 振興いわみざわ

4-6 実証実験における利用者調査

北海道大学 交通インテリジェンス研究室において、まちなか交流拠点設置による市民の交通行動の変容等に関するアンケート調査を実施

5. 実証実験から期待される岩見沢市中心市街地の方向性

まちなか交流拠点創出の方向性や将来的な姿

交流の場の創出

岩見沢市中心市街地の拠点である「であえーる」において、バス待合い機能を有したまちなか交流拠点を創出

- 実施施策：①コミュニティカフェの開催
②まちなか公開講座の開設
③自主的活動ポイント(学生)の開催

実施主体：北海道教育大学岩見沢校・北海道大学

活動を支える

継続的なまちなか交流拠点の創出に向け、中心市街地に関わる各種団体からの支援策を実施

- 実施施策：①バス交通施策の展開（市内バス路線の見直しや、まちなかワンコインバスの運行など）
②コミュニティカフェやまちなか公開講座開設のための活動場所の提供

実施主体：岩見沢市役所（企画室・中心市街地活性化推進室）
支援機関：振興いわみざわ

- ◆大学と地域が連携した継続性を持った活動の展開
◆中心市街地の機能的価値の創出や昼間人口（活動・回遊）の増加

参考1 であえーる岩見沢2階 平面図

利用(案)場所
約100m²



4条通り

栄通り

参考2 であえーる岩見沢 「ひなた広場」 写真

